



TOKYO

保問研 80 周年の歴史に学び、
保育を楽しみながら保育実践、
研究の質を深め、高めあおう。

社会の中で子どもを大切に
育てるとはどういうことか
本気で考える文化を創ろう。

日本国憲法を守り、子どもも
おとなもどのひとも、明日への
希望をもつことのできる
平和で民主的な社会にしよう。

権利としての保育を揺るがす
「子ども・子育て支援新制度」から、
私たちが誇りにしてきた保育を
取り戻そう。

もう一度、

手と手をぎゅっと

つなぎあおう

2016

6 / 3 4 5
FRI SAT SUN

第 55 回全国保育問題研究集会歓迎のことば

子どもの幸せを願って、日々、知恵を振り絞り、保育と子育てに努力と時間を捧げ、悩みながらも、それ以上の喜びをいっぱいに感じている、全国各地の保育関係者の皆さん。私たちの熱い思いで、手と手が「ぎゅっと」つながる、そんな3日間が、いよいよ間近に迫りました。

初日の6月3日、多摩ニュータウンの中心部にあるパルテノン多摩での開会集会は、子どもたちが安心して生きることができる「平和」な日本と世界をどう創るか、「平和」を脅かす時代の動きに、いかに「NO」を突き付けるか、そのために、一人ひとりが「ぎゅっと、つながる」そんな密度の濃い時間になるはず。6月4日、5日は、首都大学東京の美しいキャンパスに会場を移し、16の分科会と、今年はひとつの特別分科会がひらかれます。全国の会員が、仲間と支え合いながら創りこんだ、珠玉の実践に出会う、そんな至福の時間が待っています。実践に耳を傾け、真剣に討論し、遠慮することなく、泣いて笑い、そして、思い切り感動しましょう。未来の子どもたちのための保育実践を、どう展望するか、緻密で心温まる議論をしましょう。もちろん、「子ども・子育て支援新制度」は、本当に子どもたちの幸せにつながったのか、冷静に検討します。そういう場と時間がたっぷりあります。

東京保問研では、ベテランが支えながら、若い会員が中心になって、企画を練り上げてきました。運営にも全力をあげる所存で張り切っています。全身全霊で準備してきました。一人でも多くの方に来ていただき、子どもと保育にかける願いを分かち合いたい、全員、そういう思いに駆られて頑張ってきました。この集会の実行委員長を務めることができることを誇りに感じています。

仲間と語り合い、そして、信頼できる新たな仲間と出会う、そういう3日間になるものと確信しています。

第55回東京集会実行委員長 浜谷直人

記念講演 14:45~16:15

リレートーク

「いま、絵本にこめる 私たちの思い、ねがい」

絵本にこめられた子どもたちに受けとってほしい思いや、創作する中での裏話、そしてなぜ、平和、憲法九条を守ろうという活動に繋がっていったのか……など、リレートークで語り合います。

<子どもの本・九条の会>

丘修三さん(子どもの本・九条の会代表)

『ほいくえんのいちにち』作 絵:上條滝子 佼成出版社 など

内田麟太郎さん

『ともだちや』作 絵:降矢なな 偕成社 など

浜田桂子さん

日・中・韓平和絵本シリーズ『へいわってどんなこと?』作・絵 童心社など

和歌山静子さん

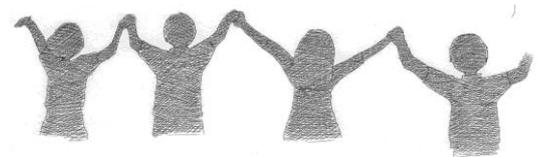
『王さまなぜなぜ戦争』絵 作:寺村輝夫 理論社 など

歓迎行事 16:30~17:30

演奏

東京ユニバーサル・ フィルハーモニー合奏団

1973年に結成された歴史あるオーケストラの演奏者による合奏団です。「感動ある生きた音楽を」をテーマに年間約80万人の子どもたちにオーケストラの響きを届け、全国各地、子どもから大人まで音楽の素晴らしさを伝えていきます。クラシックの名曲から子どもたちにも馴染みの曲まで、選抜メンバーによる演奏でお楽しみください。



開会集会 6月3日(金)13:00~14:30

☆オープニング

☆歓迎あいさつ…実行委員長 浜谷 直人

☆主催者あいさつ…全国保育問題研究協議会代表 西川 由紀子

☆基調提案…全国保育問題研究協議会 基調提案作成委員会

閉会集会 6月5日(日)11:45~12:45

☆現地実行委員会より

☆閉会の挨拶…東京集会実行委員会

☆特別報告

☆次回開催地…愛知からのアピール

3日間の日程

3日(金) パルテノン多摩

12:00	13:00	14:30	14:45	16:15	16:30	17:30	18:30	19:30
受付	開会集会・基調提案	休憩	記念講演	休憩	歓迎行事	分科会打ち合わせ	分科会運営委員の全体打ち合わせ会議	

4日(土) 首都大学東京(南大沢キャンパス)

※歓迎行事終了後 18:00~20:10 映画「戦場ぬ止み」上映

8:30	9:15	12:00	13:00	16:30	17:00	18:30
受付	分科会	昼食	分科会	移動	特別講座	

5日(日) 首都大学東京(南大沢キャンパス)

9:15	11:15	11:45	12:45
分科会	移動	閉会集会	

集会開催中は、3日間(1日目はパルテノン多摩、2・3日目は首都大学東京)とも、原画展を開催します。



1	乳児保育	<p>「乳児保育」分科会は長い歴史があり、常に「子どもの最善の利益」の観点から乳児保育のよりよいあり方を考えてきました。年齢別クラス担当基準をはじめ、乳児の生活と発達を豊かに保障する保育内容・方法、環境構成などを具体的な実践を通して検討していきます。昨年度から実施された子ども・子育て支援新制度は、多くの幼児教育・保育関係者の反対にもかかわらず、「保育」と「教育」とを機械的に区別（＝分断）し、保育の市場化をさらに押し進めようとしています。制度のあり方も含めた、幅広い実り豊かな討論を共にしていきましょう。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">運営委員</div> <p>伊藤洋子(愛知) 友廣万貴子(岡山) 遠田えり(北埼玉) 中川伸子(広島) 亀谷和史(愛知) 西林正美(兵庫) 佐々木洋子(東京) 野村朋(大阪) 柴野邦子(北海道) 松田千都(京都)</p>
2	集団づくり	<p>いま、人権と民主主義が問われています。子どもたちを民主的な主権者として人間らしく育てていくために、発達年齢にふさわしく豊かな集団生活を保障していきたいと思えます。自治的、民主的集団をめざし、子どもたちの現実や集団の現状をふまえて、実践の道筋と手だてをどう考えたらよいか、地域や家庭をも視野に含めた実践をどうつくりだすのか、また、保育者集団のあり方など、実践をもとに深めていきましょう。</p>	<p>池田かよ子(東京) 長瀬美子(大阪) 大元千種(佐賀) 古庄範子(熊本) 光本弥生(広島) 山田栄子(大阪) 谷口敦子(京都) 山本理絵(愛知) 丹野広子(仙台) 脇信明(大分) 中島常安(北海道)</p>
3	あそび	<p>子ども時代が豊かなあそびに満ちていることの重要性は誰も否定できません。保育界においてはあそびの実践が進み活発に報告されています。子どもは、あそびの中でどのような自分を育てていくのか、仲間とどのように育ちあうのか、そのために保育者はどのようにあそびを組織し、発展させていったらよいか、深く検討していくことが求められています。栽培や飼育活動も含め、全国各地で展開されている、子どもたちが輝くたくさんの楽しいあそびの実践を交流し、保育者の手立てのあり方を話し合ってください。</p>	<p>岡村由紀子(静岡) 田中浩司(東京)※ 川内良子(福岡) 三浦和恵(仙台) 河崎道夫(三重) 宮城千鶴(大阪) 木都老克彦(神奈川) 塩崎美穂(愛知) 竹内圭(京都)</p>
4	4-a 運動	<p>「身体づくり」は単に体を鍛えることではありません。「身体」とは「中身(心)を含んだ身体」であり、「身体づくり」とは、人格のありようを含めての身体の形成をしていくことです。この分科会は、運動を通じて、どのような身体を、どのように育てていくのかを、子どもの最善の利益という視点に立って明らかにしていくことです。今なぜ、その運動なのか、その教材を通してどのような認識や感情、価値観を育てるのかなど、乳幼児期の発達に即して丁寧に考えていきましょう。</p>	<p>上月智晴(京都) 佐々木雄大(東京)※ 塩田桃子(大阪) 永井三千代(北埼玉) 福井英二(福岡) 山口千恵子(兵庫) 横井喜彦(愛知)</p>
	4-b 食	<p>「食」は命を守り維持し、成長を保障する基本です。健康な身体は発達の基礎です。子どもたちや保護者の現状を知り、健康な子どもを育てるために何が必要か実践を通して語り合ひましょう。昨年の集会から続いて給食のセンター化・委託化、食材の安全、食育活動や食文化についても語り、学びあひましょう。</p>	<p>王野宮子(京都) 大下二三子(滋賀) 加藤雅美(愛知) 小西律子(兵庫) 長谷部幸子(北海道) 三上かおる(大阪)</p>
5	5-a 文学	<p>これまで提案され、話し合ってきた実践は、絵本の読み聞かせ・お話づくり・劇あそび・劇づくり・紙芝居などの活動、教材としての絵本の分析、父母・地域とかかわる園文庫の取り組みなど、多岐にわたっています。多様な実践に迫る共通の視点は、文学と出会うことによって認識を深め、表現し、その中で子どもたちの生活がよりよいものになり、集団の質が高まることです。文学の実践の可能性を追求していきましょう。</p>	<p>小川絢子(愛知) 田代康子(東京) 徳永満理(兵庫) 西川由紀子(京都) 山崎由紀子(大阪)</p>
	5-b 美術	<p>子どもの絵のとらえ方や見方、指導のあり方について古くから保間研の中にも多様な考え方や実践があります。毎年の分科会では、こうした積み重ねを丁寧に認識しあうと同時に、さまざまな実践の違う点も、結論を急がずじっくり実践の事実を丁寧に話しあう中で、相互理解を深めていけたらと思います。そこから見えてくるものを大切にしたいと思っています。</p>	<p>板井理(大阪) 伊藤正雄(東京)※ 田中義和(愛知) 平沼博将(京都) 脇志津子(京都)</p>
	5-c 音楽	<p>「音楽」は、子どもの育ち、人間形成にどんな役割を果たすのか、「音楽」が人間らしく、子どもたちの自由で伸びやかに楽しく、生きる力になるためには、乳幼児期の音楽教育はどうあったらよいのだろうか。音楽教育では認識とは何であるのか。子どもの発達を保障する・促す教材を、発達段階にそってどう選択していけばよいかなどを考えていきたいと思ひます。</p>	<p>安藤正彦(京都) 坂手佳子(大阪) 高橋弘子(群馬) 高橋陽子(北埼玉) 藤波陽子(栃木) 山並道枝(熊本)</p>
	5-d 科学	<p>子どもたち一人ひとりが、良識ある科学者としての目を持った市民として将来的に育っていくためにはどうしたらよいか。乳幼児にふさわしい科学的なもの見方・考え方とはいったいどのようなものなのか。それを幼い子どもの中に豊かに育てていくためには保育者として何を大切に、どのような実践を展開していけばよいか。3・11の原発事故以来、より重要視されるようになったこれらの問題について、実践をもとに考え、議論を深め合ひましょう。</p>	<p>北川洋子(京都) 清原みさ子(愛知) 滝口圭子(石川) 富田昌平(三重)</p>

分科会案内

分科会の検討資料は、季刊「保育問題研究 278 号」（新読書社）に記載されているものを使用しますので、必ず持参してください。当日も販売しますが、数に限りがあります。事前購入をご希望の場合は、各地の保問研または新読書社までお問い合わせください。

（新読書社 FAX：03-3814-3097

メールアドレス：info@shindokusho.jp）

<p>6 保育計画</p>	<p>保育計画作成は、保育全般に関わり、なおかつ基底となる作業といえるでしょう。保育実践の根底にある子ども像、保育目標を目の前の子どもたちの姿と家庭・地域の状況を踏まえて検討し、職員間・保護者も含めて合意形成する必要があります。</p> <p>「保育所保育指針」が告示化され6年経過し、長年保育計画について議論を積み上げてきたこの分科会で、計画作成だけでなく活用の仕方、職員集団づくり、保育記録、自己評価、保育要録など幅広い議論をしていきましょう。</p>	<p>吾孫子幹(鹿児島) 荒堀育子(京都) 入江慶太(岡山) 合田史宣(愛媛) 林若子(南埼玉) 早瀬眞喜子(大阪) 渡邊保博(京都)</p>
<p>7 保育時間と 保育内容</p>	<p>子育てを始めた父母の労働や生活の大変さと多様さのなかで、保育時間は長くなり、日曜日や祝日も保育を実施する園が増えてきています。本分科会では、父母のそうした労働実態、生活実態と、そこで一緒に暮らし、育つ子どものことを考え合い、努力したこと、工夫したこと、悩んだことなどを出し合って学びました。それは、保育園とは何か、という話し合いでもありました。そのような状況を見つめながら、どのような日課や保育内容を作っていくとよいか、子どもとはもちろん、父母とどのようにわかり合っていくとよいか、保育者の労働条件をどうしていくとよいかなど、たくさんある課題をみんなで考えたいと思います。</p>	<p>河本ふじ江(愛知) 清水民子(京都) 清水玲子(東京) 横井洋子(北海道)</p>
<p>8 保育政策と 保育運動</p>	<p>昨年4月から実施された子ども・子育て支援新制度。この間、多子世帯での保育料値上げ、育休退園問題など、子どもの権利としての保育からの後退が大きな問題となっています。また、小規模保育事業が拡大していますが、その保育条件や3歳時点での受け皿など解決すべき課題が少なくありません。待機児童も解決に向かっていくとは言いがたく、他方で幼保連携型認定こども園への移行や公立園の民営化が広がっています。こうした中、保育要求をどうとらえるか、保育の質をどう守り向上させるか、どの子も行き届いた保育を受けられる制度を実現するための課題や運動の方向をみなさんと考えます。</p>	<p>大宮勇雄(東京) 景山一正(岡山) 近藤進(京都) 杉山隆一(大阪) 中村強士(愛知) 森山幸朗(島根)</p>
<p>9 障害児 保育</p>	<p>障がいを持った子どもなど、保育において特別な支援を必要とする子どもたちへの関心が高まっています。支援が必要な子どもへの保育に取り組むことは、クラス子ども全体の保育を見直し、職員集団や保護者との協力連携関係を構築していくことにつながります。それは、どの子どもも発達し保育に参加することを保障するインクルーシブな保育を実現することであり、保育の原点を再発見することです。これまでの障害児保育の優れた実践をもとに蓄積された理論を土台にしながら、この時代に必要な実践を創造していきましょう。</p>	<p>落合操(愛媛) 上地玲子(岡山) 河合隆平(石川) 杉山弘子(仙台) 田中洋(大分) 田中良三(愛知) 野本千明(滋賀) 浜谷直人(東京)※ 三山岳(京都)</p>
<p>10 父母と共に つくる 保育内容</p>	<p>人間らしく生きる力を育てる生活の場としての保育は、昨今の状況から見ても「父母と共に」を抜きに語れません。毎回、父母・保育者それぞれの立場から、お互いに手をたずさえての思いから出発したさまざまな実践が報告されています。父母と保育者との信頼関係をつくる・父母たちの保育参加を広げる・地域に根ざした共同の子育てを進める・父母と保育者が協力して新しい保育を創造するなどが討議されます。</p>	<p>小林和子(東京)※ 穴戸健夫(愛知) 長瀬弥生(大阪) 成富清美(福岡) 細見玲美(京都)</p>
<p>11 乳幼児期の 平和教育</p>	<p>平和的人間の形成は現代の教育の原点であり、人類的課題といえるものです。乳幼児期から子どもの心の中に平和のとりでを築く平和教育の営みは、平和な将来の社会を保障する重要な条件であり、最も確実な道といえます。平和とは、単に戦争が無い状態だけでなく、戦争を生み出す元となる飢餓、貧困、差別、失業、虐待などの無い、人権が守られている状態を指すものです。保育現場で、生きづらさを抱えている子どもたち、親たちに向き合い日々取り組んでいる、そのことが平和教育につながるものです。愛されているという安心感や自己肯定感を育てることも仲間と話しあう力を培うことも平和の心を育む実践といえます。平和教育は決して「敷居が高い」ものではありません。日常の保育をあらためて平和教育の視点でとらえ直してやることから始めていきましょう。</p>	<p>石川秀子(広島) ウィンフィールドひろみ(沖縄) 黒川久美(鹿児島) 千葉朝子(静岡) 船越美穂(福岡)</p>
<p>12 地域に開かれた 保育活動</p>	<p>子どもの貧困が広がり、少なくとも6人に1人の子どもが経済的にも文化的にも厳しい家庭環境で育つことを強いられています。子育てが家庭で孤立することがないように、保育園や幼稚園はこれまでもさまざまな子育て支援活動に取り組んできました。本分科会では、保育園や幼稚園の地域活動とともに、市町村の相談援助活動、地域子育て支援センターなど地域のさまざまな機関・団体の協力の取り組みを交流してきました。いま、子ども・子育て支援新制度のもとで、地域子育て支援活動は新たな展開を迫られています。その課題の検討も含め、地域に開かれた保育活動の展望を切り開きたいと思えます。</p>	<p>木戸啓子(岡山) 野々上昭弘(大阪) 松浦崇(静岡) 水野恵子(東京) 望月彰(愛知)</p>
<p>13 特別分科会 異年齢保育</p>	<p>異年齢保育は、小規模園だけでなく年齢別にクラス編成できる所でも取り組む園が増えてきました。また3～5歳だけでなく1歳や2歳など未満児を含む異年齢保育など質的にも変化しています。近年集団づくりなど各分科会に恒常的に提案が生まれ関心も高まっています。本年特設された異年齢保育の分科会、異年齢保育を実践するなかでの固有の悩みや工夫や課題の交流からはじめましょう。</p>	<p>佐藤満(滋賀) 谷川芳秋(京都) 宮里六郎(熊本) 渡辺智美(三重)</p>

※のついている運営委員は、集会運営のため、退席することがあります。

特別講座

A	<p>保育政策 ～子ども・子育て支援新制度の現実と東京の保育 大事にしたい私たちの保育～</p> <p>子ども・子育て支援新制度がスタートして、東京を中心に全国でどのような問題が起こっているのでしょうか。制度・条件のあり方と、豊かな保育内容の構築を目指すために考えていきましょう。</p> <p>講師：近藤幹生（白梅学園大学）</p>	<p>海外の保育 ～一保育士の視点からみたアメリカの保育～</p> <p>ハーバード大学構内にある Parent Cooperative（保護者が設立した保育園）であるハーバード・ヤード・チャイルド・ケア・センター（HYCCC）の様子をお伝えします。</p> <p>報告者：服部薫（リーダーシップ/マネージメント コンサルタント・前 HYCCC 園長）</p>
B	<p>震災・復興 心つながる～東日本大震災から5年、被災地は今～</p> <p>保問研がこれまで支援活動を行ってきた被災地の現状と課題を明らかにしながら、私たちが今やらなければならないことを考えます。</p> <p>報告者 南三陸町・マリナル保育士 三浦美香 亙理町・吉田保育所所長 鈴木由美子 福島市・さくら保育園から</p> <p>コーディネーター 鈴木牧夫（東京保問研）</p>	<p>東京・多摩地域の自然(雑木林) ～原っぱの自然学～</p> <p>里山の生物多様性を語るうえで、雑木林とともに忘れてならないものに「原っぱ＝草地」の存在があります。身近な原っぱの価値を主題に、その現状と魅力についてお話します。</p> <p>講師：内野 秀重（八王子市長池公園自然館園長）</p>
C	<p>みんなのしゃべり場 ～みんなの悩み、思いを語り合おう～</p> <p>もはや恒例！ 分科会とは違った雰囲気なかで、保育の魅力や楽しさを語り合きましょう。</p> <p>コーディネーター：田中千草（愛知保問研） 中村強士（愛知保問研）</p>	<p>人形づくり(ワークショップ) ～身近な素材で人形をつくらう～</p> <p>身近な素材を利用した人形づくりワークショップ。なじみのある素材からできた人形を動かすことで、子どもたちの想像力を豊かにひろげる人形劇の魅力と操作を学びます。</p> <p>講師：早川百合子(人形劇団ブーク俳優・演出)</p>
D	<p>子どもの貧困 ～子どもが希望を取り戻す保育～</p> <p>6人に1人の子どもが貧困の中でくらしている今、保育には何が求められるのでしょうか。子ども・子育て支援新制度の問題点も含めて、子どもが希望を取り戻す保育について提案します。</p> <p>講師：望月彰（愛知保問研）</p>	<p>幼稚園シンポジウム ～保育の中の教育～</p> <p>めまぐるしく変わる保育制度の中で、私たちが目指す保育の中の教育について考えます。</p> <p>お茶の水女子大学附属幼稚園 上坂元絵里 白梅学園大学附属白梅幼稚園 西井宏之 平塚幼稚園 池田かよ子</p> <p>コーディネーター 渡邊保博（京都保問研）</p>
E	<p>あそび ～あそびっておもしろい～</p> <p>子どもって本当に面白いですよ。人々の生活のすぐそばにあそびがあることの素晴らしさ。大切にしなければならないこと。語り合しましょう。笑い合しましょう。</p> <p>講師：宮里和則（NPO法人ふれあいの家・おばちゃんち）</p>	<p>「伝えあい保育」にこめられた想い ～1950年代の実践をもとに～</p> <p>戦前保問研を引き継いだ再建保問研の主に1950年代の実践資料を中心に、民主的な主権者を育てる、おとなも子どもも同じ床の上に立つ、仲間をくぐって育ちあう等保問研の土台を発見した過程を語ります。</p> <p>講師：田代康子(東京保問研)</p>
F	<p>表現 ～快適な心と体、そして表現～</p> <p>生き生きと軽やかな体。表現力に溢れた体。素直な体。ユニークなボディワークや声を出すなどして、子どものような感覚を取り戻しましょう。</p> <p>講師：JIDAI（オーガニックマイム/JIDAI メソッド/日本アートマイム協会主宰）</p>	<p>平和 ～現代と平和について語る～</p> <p>昨今、目まぐるしい世界情勢の変化に伴い、この国の平和も脅かされようとしています。私たちは何を見つめ、信じていけばよいのでしょうか。報道の立場から『平和』を考え、語ります。</p> <p>講師：永田浩三(元 NHK プロデューサー・武蔵大学教授)</p>
G	<p>伝統芸能 ～保育に活かせる！ 和太鼓・民舞体験講座～</p> <p>和太鼓や民舞、民謡など日本の民俗芸能に込められているのは「願い」です。子どもたちの笑顔を守るためには大人が元気になるのが一番！みんなで歌い、叩き、踊りましょう。</p> <p>講師：改田雅典（でん舎）</p>	<p>※定員がある講座があります。</p> <p>講座 E あそび（50名） 講座 F 表現（30名） 講座 G 伝統芸能（100名） →持っている方はバチを持参してください。 講座 J 人形づくり（30名） →材料費として、当日500円をご負担ください。</p>

第55回全国保育問題研究集会 東京集会 申込書

FAX:03-3348-2934

弊社確認印

【新規・変更・追加・取消】

いずれかに○をご記入下さい

【名鉄観光サービス(株)新宿支店宛】

フリガナ		参加証・請求書送付先(自宅・職場)○印をご記入
代表者名		〒
(保問研名)	(保問研)	
職場名 学校名等		TEL: FAX:

No.	フリガナ 参加者氏名	性別	分科会 記号	特別講座 記号	宿泊第一希望			宿泊 第二 希望	弁当 6/4	職場名 学校名	一般 学生	備考
					6/2 (前泊)	6/3	6/4					
例	トウキョウ タロウ 東京 太郎	男	3	E	X	A-1	A-1	B-1	○	〇〇保育園	一般	No.1と 同室
1												
2												
3												
4												
5												

*字は大きくはっきりとご記入ください。

◇ツインを希望される方は、お申し込み用紙に同室者を分かる様にご記載ください。

◇上記宿泊プラン以外での館内ご利用分(飲食等個人的なご利用等)は、チェックアウト時に各自ご精算ください。

ホテル名	申込記号	部屋タイプ	宿泊料金	交通アクセス
京王プラザホテル多摩	A-1	シングル ツイン	11,500円 10,500円	京王線・小田急線 多摩センター駅徒歩3分
橋本パークホテル	B-1	シングル	7,500円	橋本駅北口から徒歩5分
マロウドイン東京	C-1 C-2	シングル ツイン	7,500円 6,500円	京王線東府中駅徒歩1分
ホテルメッツ立川	D-1	シングル	13,000円	JR立川駅隣接
立川ワシントンホテル	E-1	シングル	10,000円	JR立川駅徒歩2分 モレール立川南駅徒歩1分
マロウドイン八王子	F-1	シングル	7,000円	京王八王子駅徒歩6分
ザ・ビー八王子	G-1	シングル	14,500円	JR八王子駅徒歩7分
立川グランドホテル	H-1	シングル	12,500円	モレール立川北駅徒歩2分

【宿泊のご案内】※募集型企画旅行

■2016年6月2日(木)～6月4日(土)の3日間をご用意しております。下記料金は、1泊朝食付(サービス料・消費税税込)の料金となります。ご希望ホテルは、原則として予約申し込み先着順となります。
最少催行人員/1名様(添乗員は同行しません)

お支払い方法

*一次締切日以降、郵送にて請求書・参加証等をお送りいたします。

☆お申し込み内容を確認後、指定日までに銀行にお振り込みください*振り込み手数料はおお客様負担です

*事前に送付いたします参加証・お弁当引換券・宿泊券等は、集会参加当日には必ずお持ちください。

ご記入に際して

(必ず一読ください。)

※「参加要項」をご参照の上、ご記入ください。

①宿泊希望日欄に、ホテル申し込み記号をご記入ください。第二希望のホテルもご記入ください。

②ツインルーム希望の場合は、備考欄に同室者の番号をご記入ください。

③6/4の弁当をご希望の方は、弁当欄に○印をご記入ください。なお首都圏大学東京周辺でも購入は可能ですが、混雑が予想されますので購入されることをお勧めいたします。当日のお申し込みの対応は出来かねますので、ご了承ください。(事前予約制)

④お支払いは、銀行振入のみとさせていただきます。なお、振込手数料はおお客様負担となります。予めご了承ください。

⑤変更・追加・取消などは、こちらの申込用紙に上書きしてFAXしてください。

◇申し込みをいただいた確認のため、2～3日以内に、右上に受領印を押して、FAXにて返送させていただきます。

*一次締切4月28日(木) *最終締切5月19日(木)

参加要項

参加費(一般)

- 一次締切 4月28日(木) 8,000円
(学生3,000円)
- 最終締切 5月19日(木) 8,500円
- 当日扱い 9,000円
- 弁当(6/4分) 1,000円
- 宿泊費(6/2、3、4)……………宿泊費の詳細は前ページをごらんください

(注) 最終締切日以降のお申し込みは、当日扱いとさせていただきます。お早めにお申し込みください。

■お申し込み開始は…4月1日(金)AM10時より インターネット及びFAXにて

■インターネットでのお申し込み

- 1) 「全国保育問題研究協議会(全国保問研)」 <http://zenhomon.jp> を検索
- 2) お申し込みは「集会のお知らせ」のページから「名鉄観光」をクリックしてください

■ご変更・お取消しについて(トラブル防止の為、お電話による変更・取消は受付いたしておりません。)

お申し込みの変更・取消はFAXまたはメールにてご連絡ください。(FAXご利用の際は、別途お一人様¥300の手数料を頂戴いたします)。なお、取消料は下記の通りです。

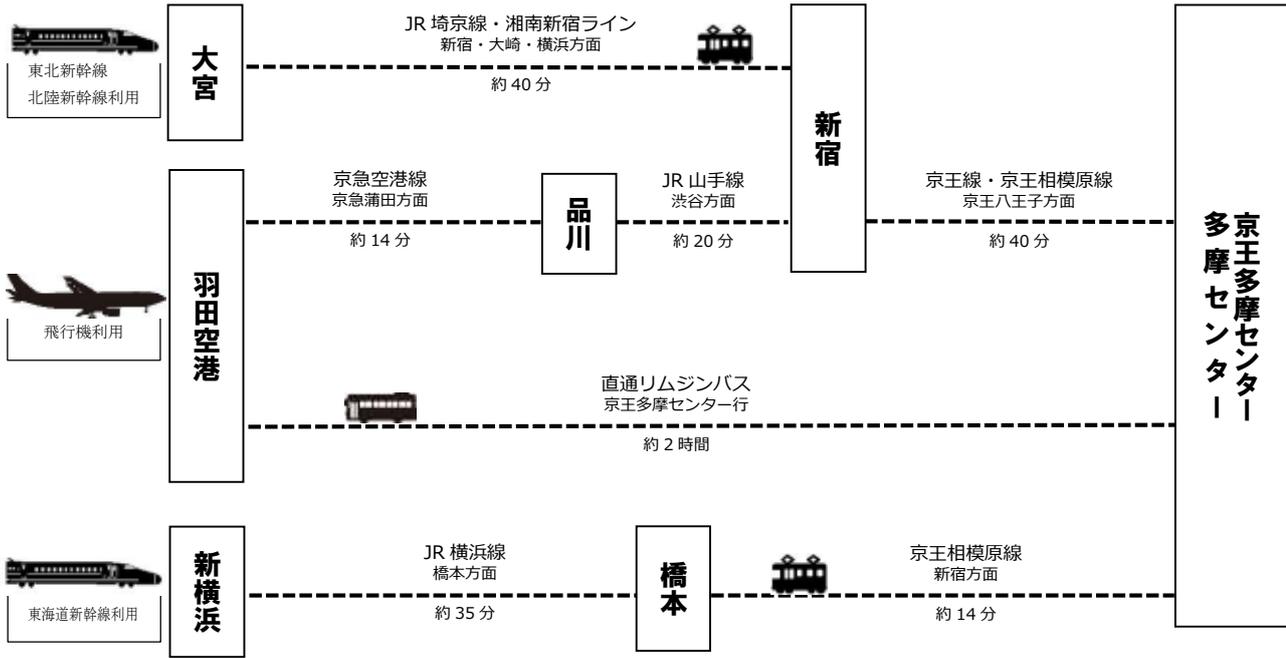
参加取消日	参加費取消料	ご返金額	変更・取消日	宿泊費取消料	弁当取消料
5日前まで (5月28日まで)	500円	取消料・振込料を 除いた残金	利用日7~2日前まで (午後6時まで)	宿泊費の 20%	無料
前々日まで (6月1日まで)	参加費の 20%		利用日の前日まで (午後6時まで)	宿泊費の 30%	弁当代の50%
前々日以降 (6月1日以降)	参加費の 100%	返金ございません	利用日の当日 (午前中まで)	宿泊費の 50%	弁当代の100%
			未連絡	宿泊費の 100%	弁当代の100%

※台風等の災害により開催が危ぶまれる場合は、ホームページでお知らせいたします。随時ご確認ください。なお、やむを得ず中止となった場合は、資料郵送代として1000円を頂戴し、残金は返金いたします。

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-19-8 新東京ビル6階
名鉄観光サービス株式会社 新宿支店
「第55回全国保育問題研究集会」担当 徳田・須々田
電話:03-3343-0631 / FAX:03-3348-2934
E-mail:atsushi.tokuda@mwt.co.jp
【営業時間:平日 9:00~18:00(土日・祝日は定休日となります。)]

■ 1 日目の全国主要箇所からのアクセス ■



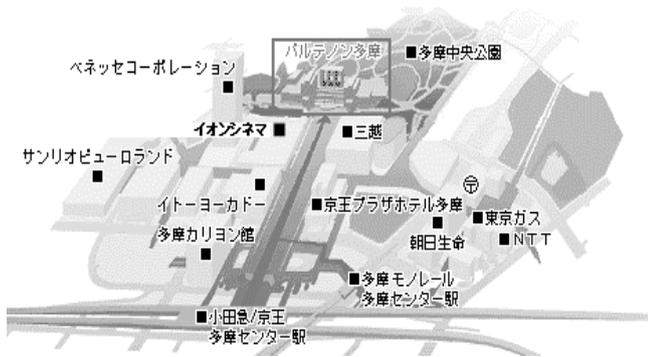
移動時間の目安

大宮から約 90 分
 羽田空港から約 80 分
 (電車利用の場合)
 新横浜から約 60 分

その他の主要アクセス

新宿(小田急線・小田原方面)―新百合ヶ丘(小田急多摩線・唐木田方面)―小田急多摩センター
 町田(小田急線・新宿方面)―新百合ヶ丘(小田急多摩線・唐木田方面)―小田急多摩センター
 ―橋本(京王相模原線・新宿方面)―京王多摩センター
 八王子(JR 横浜線・桜木町方面)―橋本(京王相模原線・新宿方面)―京王多摩センター

■ パルテノン多摩(6/3 の会場)



京王相模原線「京王多摩センター」駅 下車徒歩約 5 分
 新宿より 京王線準特急「京王多摩センター」行乗車
 京王線特急・準特急「橋本」行乗車
 多摩モノレール「多摩センター」駅 下車徒歩約 5 分
 (立川南駅より 多摩モノレール「多摩センター」行乗車)

■ 首都大学東京南大沢キャンパス(6/4、5 の会場)



京王相模原線「南大沢」駅 下車徒歩約 5 分
 新宿より 京王線「京王八王子」行乗車 調布にて京王相模原線「橋本」行乗換
 京王線特急・準特急「橋本」行乗車
 橋本より 京王相模原線乗車

【各ホテル所在地近辺駅からのアクセス】

- ◆ 東府中駅～京王線本線と京王相模原線分岐駅「調布駅」で乗換をご利用ください。
- ◆ 立川(南)駅～多摩都市モノレール・多摩センターもしくは、JR 横浜線・橋本駅乗換
- ◆ JR 八王子駅・京王八王子駅(二駅間徒歩 7 分)～JR 横浜線八王子駅利用、橋本駅乗換
京王相模原線をご利用ください。